

プロの集団 チーム碧山!

碧山だより

子どものやる気を育てます



3月号

令和3年3月1日

西東京市立碧山小学校

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-hekizan/index.html>

ちょうど1年前は ——「感染症対策を振り返る」——

校長 伊藤 正明

ちょうど1年前の3月、突然臨時休校となり、1週間が経ったところで、保護者の皆様には「ピンチをチャンスに」というタイトルでのメールを配信させていただきました。それから1年間はたちました。3カ月間の休校、学校再開後の様々な感染症に対する対応や学校の教育活動に関しまして保護者の皆様には多大なるご理解ご協力をいただき感謝しかありません。ウィルスへの感染リスクを下げることは勿論のこと、不安や恐れからくる「心の感染症」に対しても、感染のリスクを軽減するべく教育活動を行ってまいりました。PTAの皆様の消毒への協力や心の感染症へのリスク軽減にもご理解をいただけ、また、明るく前向きな最高学年6年生の影響もあり、子どもたちは楽しい学校生活を送ることができたと感じています。

今年度のウィルス性の感染症の状況を現時点で振り返ると、インフルエンザの罹患者は0人、他のウィルス性の罹患者は20人でした。31年度は、インフルエンザ71人、他のウィルス129人、30年度は、インフルエンザ171人、他のウィルス85人。29年度は、インフルエンザ230人、その他のウィルス92人でした。それぞれの年度における感染症対策の大きな違いは、29年度は給食時、給食当番のみのアルコールでの手指消毒の実施、30年度からは、給食時、全員のアルコールでの手指消毒の実施、31年度は、マスクの着用、前向き給食の実施、手洗いの励行を強化、令和2年度学校では、マスクの着用による直接の飛沫感染の防止、常時喚起や密集、密接を避けることによる、マイクロ飛沫への感染リスク軽減、共有物の消毒、こまめな手洗いの実施による間接触による感染リスクの軽減を実施する対応です。更に、各ご家庭で免疫力を上げるための適度な運動や十分な睡眠、バランスの良い食事、笑いのある生活等免疫力を上げるための小さな努力、そして体調が少しでもすぐれない時に無理をさせずに休ませていただいたこと等の結果が、インフルエンザウィルスや他のウィルスによる欠席者が激減につながったと確信します。

改めて、一人一人の小さな努力が大きな力になるのだと感じた感染症による欠席者のデータでした。ワクチンの接種が開始され、少しずつ前に進んできていますが、まだまだ新しい生活様式は実施していく必要があると捉えています。今後も感染症に対する丁寧で確実な取組、指導を行ってまいります。

3 月 行 事 予 定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	月	安全指導 委員会 (最終) クラブ紹介 (放送～5日まで)	16	火	
2	火	なかよし集会 (3組)	17	水	
3	水	保護者会 (5・6年)	18	木	読み聞かせ (5・6年)
4	木	放送朝会 クラブ (午後のみ月曜時程)	19	金	
5	金		20	土	春分の日
6	土		21	日	
7	日		22	月	門出送り (在校生が6年生の門出を祝います)
8	月	クラブ (最終)	23	火	給食終 大掃除
9	火	なかよし集会 (1組) 卒業式会場準備 (5年)	24	水	【特別時程】修了式 卒業式予行 (5・6年)
10	水	なかよし集会 (2組) 保護者会 (1・2年)	25	木	卒業式 (6年)
11	木		26	金	春季休業日始
12	金	なかよし集会 (3組)	27	土	
13	土		28	日	3月の行事等は、3月7日(日)に緊急事態宣言が解除された場合の内容です。予定の変更が発生した場合には、一斉配信メール等にて別途ご連絡いたします。
14	日		29	月	
15	月		30	火	
月目標			31	水	
きれいな学校にしよう					

※3月は予告なしの避難訓練があります。

6年生ありがとうプロジェクト

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、体育館で全校児童が集合しての6年生を送る会は行わず、以下のように行う予定です。

在校生は出し物のビデオレターと、ホールのパネルに飾る壁画を製作しています。5年生はなかよし班活動のメッセージカードをまとめたり、最後のなかよし班活動の司会・進行をしたりするなど責任のある仕事しています。校旗の引継ぎは5、6年生各クラスで行い、お昼の放送で代表委員会が引き継いだことを放送する予定です。

3月末には、校庭で全校児童が6年生の見送りをする予定です。学校をリードしてくれた6年生に感謝とエールの気持ちを伝えます。

3学期読書旬間について

今年度は、読書活動の取組として、リーディングバディと図書委員会が「おぞうにくらべ」の放送による読み聞かせをしました。また、読書感想文を書いた児童には図書委員会の手作りの「もう一冊本が借りられる券」を配布しました。給食の時間には、たくさん感想文を提出したクラスを放送で表彰しました。読書感想文では、自分のおすすめしたい本の良いところとその理由を書きクラスのみんなに紹介しました。

リーディングバディでは、6年生が3年生に、5年生が2年生に、4年生が1年生に自分の選んだおすすめの本の読み聞かせをしました。新型コロナウイルス感染症対策のため、日にちを分け、実施する教室を増やして、距離を十分にとった座席で行いました。どの学年も読み聞かせは気持ちがこもっていて素晴らしく、聞き手の子たちは、静かに聞き入っていました。

また、読む前に、高学年の子は読む本の名前や作者名を書いたカードを低学年の子たちに渡しました。読んでもらった後は、「ありがとうカード」を書き、お礼の手紙を渡しました。内容は、「～の場面がおもしろかったです。」「読み方がとても上手でした。」「感動しました。」「本が好きになりました。」などの喜びを伝えるものばかりでした。

ぜひこれからもいろいろな本を読み、親しんでもらいたいと願っています。



大成功！碧山移動教室（6年）

今年度は、赤城移動教室が中止となり、6年生はとてもさみしい思いをしていました。そこで、3学期に総合的な学習の時間で「プロジェクトX～卒業生たち～」と題して、移動教室の代替行事である「碧山移動教室」を子どもたち自身で計画を立てました。2月22日（月）、午後2時から7時半まで、様々な企画を実施しました。ハンターに捕まらないようにお宝をチームでゲットする「逃走中」。学年で誰が最も靴を飛ばせるのかを競った「靴飛ばし」。優勝者には、給食お替わり券が贈呈されました。普段なら絶対できない夕暮れの「校内きもだめし」。男女ペアで暗い学校を回りました。そして、「キャンプファイヤー」。定番のダンスを踊ったりゲームをしたり大盛り上がり。後半は、「12歳の決意」を行いました。子どもたち全員が、今思っていることを大きな声で叫びました。将来の夢やみんなや親への感謝など、全員がしっかりと12歳の今、思っていることを宣言することができました。

6年生の「団結」と「本気」が、碧山移動教室でいかに発揮されました。いざ卒業へ！



スクールライフの
QRコード

